

今度はこれがでる！

## 第13回（2013年3月10日）向け建設業経理士1級 原価計算出題予想

	第1予想	第2予想	第3予想
第1問	記述問題 ・工事原価計算の目的 ・仮設資材の工事原価算入の方法	記述問題 ・特殊原価調査について ・原価計算基準における「原価管理」の意義	記述問題 ・活動基準原価計算について ・個別原価計算と総合原価計算
第2問	正誤問題	正誤問題	空所補充問題
第3問	個別計算問題 ・社内損料計算制度(機械等)	個別計算問題 ・労務費会計	個別計算問題 ・社内センター制度
第4問	個別計算問題 ・補助部門費の配賦 (複数基準配賦法) ・標準原価計算	個別計算問題 ・等級別総合原価計算	個別計算問題 ・部門別計算(相互配賦法)
第5問	総合問題 ・「完成工事原価報告書」の作成 ・「未成工事支出金」残高の計算、「工事原価計算表」の作成など ・「原価差異」の分析		

なぜ、こう予想した？

第1問では、原価計算の総論、工事間接費の配賦、仮設資材の処理について多く出題されています。また、改正され追加された論点がありません。第1問の問題として聞かれる傾向があります(例:特殊原価調査)。特に工事間接費(製造間接費)に関する新たな配賦方法として登場してきた、**活動基準原価計算(ABCシステム)**は、すでに計算問題としても出題されていますが、理論での出題可能性も高いと考えられます。

第2問では正誤問題、または空所補充問題がほぼ、交互に出題されます。しかし第10回から12回までは空所補充問題が出題されています。したがって今回は正誤問題の可能性が高いと言えるでしょう。また、取り上げられる頻度が高いのは**原価の費目別計算、原価計算総論、工事間接費の配賦、活動基準原価計算**などです。こうした頻出度の高い論点を中心に確認しておきましょう。

第3問は、過去問題を分析してみると、ほぼ**社内損料計算制度**からの出題です。社内損料計算制度は建設業に特有の計算です。しかし第12回では、材料費会計の問題が出題されました。そのため、今回は**社内損料計算**の出題可能性が高いと判断し、第1予想としました。ただし、**社内センター制度**からの出題の可能性もあるので注意が必要です。また第4問の内容が第3問で出題されることもあります(第5回、第7回、第9回、第11回など)。そのため、第4問の対策とリンクさせて対策をおきましょう。

第4問は、建設業に特有のものではなく、一般製造業の原価計算が中心となって出題されています。出題実績から、**総合原価計算**および**材料費・労務費の会計**が多いため、これらの論点に十分に注意する必要があります。また、補助部門費の配賦や活動基準原価計算などの論点の他、標準原価計算も第6回には第3問として出題されていますが、今後も出題が予想されるようです。そのため、ぜひ対策しておいてください。

第5問は**総合問題(完成工事原価報告書、原価差異の分析等)**です。配点が高く解答にも相当の時間が必要ですが、出題パターンが毎回ほぼ同じであるので、過去問で充分に対策しておきましょう。

合格目指して  
ラストスパートだ！

